

県内百貨店・主要小売店4月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	10.4		8.2
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	6.8	3.7	▲0.1
Vドラッグ	6.8	5.6	1.2
ホームセンターバロー	0.3	▲1.9	▲5.8
セリア	3.5	▲0.7	0.5
ヒマラヤ	2.7	1.9	▲1.1

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など3社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計



県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の4月上高実績(速報値、小売店は全店売上高)は、全店が前年同月を上回った。

岐阜高島屋は、5カ月連続で前年同月を超えた。柳ヶ瀬グラスル35の開業効果もあり、客数は大きく増加。インテリアや家庭用品などの充実で、売り上げも伸長した。婦人服の需要も戻りつつある。セリアは、7カ月連続で前年同月を上回った。行動制限

4月の百貨店 全店が前年上回る
小売店売上高

緩和に伴って旅行、イベント関連のグッズが好調に推移している。客数は2カ月ぶりに前年同月を上回った。

バローは消費トレンドに変化の動きがみられ、精肉が好調だった。ドラッグストアは風邪薬が通常の1・4倍になるなど医薬品が好調。インバウンド需要も取り込んだ。プライベートブランドを強化しているホームセンターは、消耗品は堅調だが長期間使用する商品に鈍さがみられた。

ヒマラヤは、サッカーや野球をはじめ一般スポーツが好調だった。セール効果で売り上げを確保した。